

ドクター・コメンテ
Dr. KOMENTE
Maintenance Service

ニュース

2023/9

ラジエータの点検・清掃をしましょう!

ショベルに搭載されるラジエータは冷却装置の一種で、エンジンのオーバーヒート防止に貢献しています。オーバーヒートは重大なエンジントラブルに繋がる危険性があるため日々の点検・清掃を実施しましょう!

ラジエータの点検・清掃をしよう!

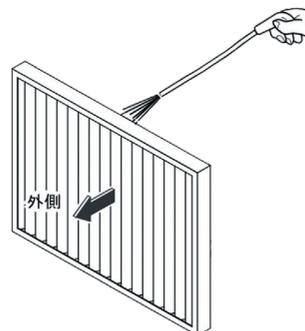
ラジエータがごみで汚れた状態でショベルを運用していると、エンジンの冷却能力が低下し機械性能に影響する可能性があります。コベルコのショベルにはごみを収集するフィルタがラジエータ吸気側に搭載されています。※ミニショベルには、搭載されていない機種もあります。容易に取り外しできますので**定期的な清掃**を行いましょう。

【清掃例：iNDr フィルタ】

- ①カウンタウエイト左側のサイドドアを開け、フィルタを取り外す。



- ②空気圧力に注意してエアーで清掃する。(圧縮空気0.2MPa以下)

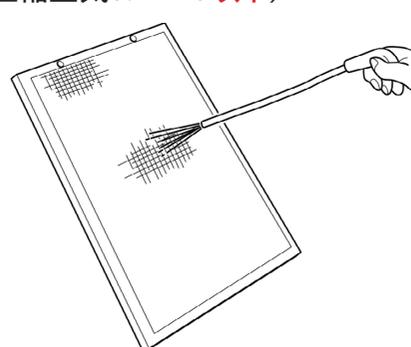


【清掃例：通常フィルタ】

- ①エンジンフードを上げ蝶ねじを外し、フィルタを取り外す。



- ②空気圧力に注意してエアーで清掃する。(圧縮空気0.2MPa以下)



「ドクター・コメンテ」

メンテナンスサービス



Dr. KOMENTE
Maintenance Service

ラジエータキャップの点検・清掃も行いましょう！

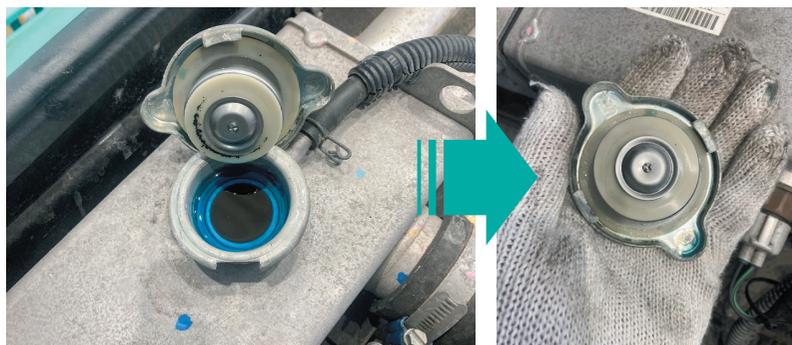
- ラジエータキャップは、ラジエータ内の圧力が高すぎる場合に、サブタンクにクーラントを逃がしてラジエータを保護する役割を持っています。
キャップに汚れが付着すると正確に動作しないことがありますので、フィルタだけではなくラジエータキャップも**点検・清掃**を行いましょう。
- 250時間ごとの点検・清掃**および**キャップに損傷があるとき**や**使用開始から1年経過後**には**部品交換**を実施してください。



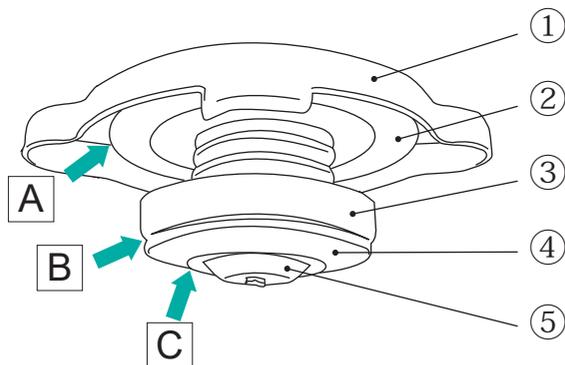
ラジエータキャップ 点検時の注意



点検時高温の蒸気やクーラントでやけどをする危険性があります。そのため、キャップを開けるときはクーラントの**温度が下がってから**、**ゆっくり**キャップを回して開けるようお願いします。



【清掃例：SK200-10】



以下の箇所を点検し**異物の付着があれば清掃**、**損傷があれば部品交換**を実施してください。

A：外ふた①とガスケット②の両面

B：圧力弁③とガスケット④の両面

C：ガスケット④と負圧弁⑤の接触面



クーラントの取扱については過去のコメンテニュースもご確認ください！
適切なクーラント（冷却水）を使いエンジンの冷却能力を維持しましょう！

コベルコ建機株式会社

www.kobelco-kenki.co.jp

東京本社/〒141-8626 東京都品川区北品川5-5-15 ☎03-5789-2111

コベルコ建機日本株式会社

本社	〒272-0002 千葉県市川市二俣新町17	☎047-328-7111
北海道支社	☎011-788-2382	東北支社 ☎0223-24-1141
関東支社	☎047-328-2322	上信越支社 ☎025-259-3711
中部支社	☎052-603-1201	関西支社 ☎06-6414-2108
中四国支社	☎082-810-3660	九州支社 ☎092-410-3030

■点検・修理のご用命は……